

健康危機下の医薬品開発を進めるために

～コロナ禍の学び：プラセボ対照二重盲検比較試験を取り巻く課題～



日時 2025年2月14日(金) 14:00▶16:30

総司会 杉浦 亙 国立国際医療研究センター臨床研究センター長

参加対象 有事の感染症流行時における医薬品開発に関心のある方

主催 国立国際医療研究センター  NCGM
National Center for Global Health and Medicine

参加無料
※事前登録制

ウェビナー

プログラム		
使用言語：日本語		
時間	次第	スピーカー
14:00▶14:05	開催挨拶	国立国際医療研究センター理事長 國土 典宏 先生
14:05▶14:45	セッション1 臨床の視点から 「コロナ禍の臨床試験で起きたこと」	①国立国際医療研究センター国際感染症センター長 大曲 貴夫 先生 国立国際医療研究センター国際感染症センター 齋藤 翔 先生 ②藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科教授 土井 洋平 先生
14:45▶15:25	セッション2 研究倫理の視点から 「公衆衛生上の緊急事態における 臨床試験の倫理」	①東北大学大学院文学研究科 教授 田代 志門 先生
15:25▶15:45	セッション3 規制当局の視点から 「感染症治療薬の 臨床試験デザインに関する留意点」	①医薬品医療機器総合機構新薬審査第四部 川路 啓太 先生
15:45▶15:50	休憩	
15:50▶16:25	パネルディスカッション 「今後のパンデミックに向けて 準備すべきこと」	モデレーター ①国立国際医療研究センター臨床研究センター長 杉浦 亙 先生 ②国立国際医療研究センター臨床研究センター臨床研究推進部長 時田 大輔 先生 パネラー ①NCGM 齋藤 翔 先生 ②藤田医科大学 土井 洋平 先生 ③東北大学 田代 志門 先生 ④PMDA 川路 啓太 先生
16:25▶16:30	閉会挨拶	国立国際医療研究センター臨床研究センター長 杉浦 亙 先生

事前登録はURL or QRコードから▶▶▶ <https://vb.wufoo.com/forms/m1kaxn940mnur00/>
2月10日(月)12時 締切 ※どなたでもご参加いただけます。WEB登録の上、ご参加ください。

お問い合わせ 国立国際医療研究センター臨床研究センター臨床研究推進部臨床試験調整室
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 Email: rinshou_chousei@hosp.ncgm.go.jp
[ウェビナー運営委託会社] 有限会社ビジョンブリッジ (<https://www.visionbridge.jp/>)

